

令和元年度 小林地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和元年7月27日（土） 15:00～17:10

◆開催場所：小林地域生活センター 2F 研修室



<質疑概要>

公共交通のあり方について

発言： 一定の区バス利用者を確保して存続させるための努力が必要。区として今までどういった活動をしてきて、今後利用者をどう増やしていくのか教えてほしい。また、シニア半割の手続きを代行できる仕組みができないか。

回答： 区バスは収支率が30パーセントを切ると廃止の対象になりますが、運賃収入だけでは見込めず、職員が企業などから協賛を募って確保している状況です。バスの周知が足りないならば、要望に応じてチラシ周知をします。土日の区バスは運行していませんが、乗合タクシーは乗れますのでぜひ使ってください。シニア半割は、今年から本人以外でも申請ができるようになりました。

8号線の渋滞について

発言： なんとか信濃川大橋付近の渋滞解消と8号線の4車線化を早急に進めてもらいたい。

回答： 渋滞対策は、私たちも長年の課題でした。地元の方からも8号の4車線化の要望を国に挙げていただいています。皆さんから要望があったことは、私どもから国に伝えさせていただきます。

また、中央環状線や黒埼のインターチェンジが出来れば渋滞も減少するのではと思います。併せて事業を進めていますので、もう少しお待ちいただければと思います。

バス利用の手続きと無料乗車体験について

発言： シニア半割の手続きをすれば、ぐるりん号の申請を簡便化してもらいたい。バス利用を高めるために1か月の無料体験を実施してはどうか。

回答： 半割の手続きをすれば、ぐるりん号の手続きは必要ありません。特定の路線を無料にすることは他の区バスとの均衡もありますので出来ないと思います。

特定健診の受診率について

発言： 各地域生活センターで特定健診に該当する項目を受けることができたり、車両による検診ができたりすれば、受診率が上がるのではないか。

回答： 医療機関での健診を勧めているほか、車の中での検診はプライバシーの問題から嫌がる方もいるので、昔のような実施は難しいと思っています。セルフケア健診という新規事業もありますので、30代の方は、その後の健診につながるよう受けていただくこともお願いします。

学童保育について

発言： コミ協がひまわりクラブの指定管理者になるにあたり、コミ協としての意見や体制、保護者からの要望に応えるようにしていきたいと考えている。

回答： 4月からの指定管理者は議会の議決を経て決定されますが、ぜひ公設化後も、子どもたちが安心、安全に放課後を過ごせるようご協力をお願いします。